

■『本の底力』高橋文夫著 ネット、ウェブの普及に伴い「読む」ことの変容が懸念されている。文字から視聴覚へ、一方向から双方向へ、思索・鑑賞から感覚・印象へ。デジタル化やグローバル化といった文明の波のなか、均質化し、画一化におびやかされる私たちの暮らし。そんな時代だからこそ、紙の本だけが持つ魅力や可能性、その力を信じたい。新時代の読書法の提案。

(新曜社、1600円)

